

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 福島県須賀川市立白方小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒962-0301
福島県須賀川市今泉字梅田181

E-mail school@shirakata-e.fks.ed.jp

Website http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=184

児童生徒数 男子 60名 女子 53名 合計 113名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（学校における日常的なESDの実践のための研究）

3. 活動内容

1 ESDカレンダーの改善

教科横断的な学習活動を日常的に実践できるようにするため、これまで本校で作成していたESDカレンダーに、次に改善を加えた。

- (1) 国立教育政策研究所による「持続可能な社会づくりの6つの構成概念」と「ESDの視点に立った学習指導で重視する7つの力」を明示し、教科・領域の学習のつながりがより明確になるようにした。
- (2) 横断的・総合的・探究的な学びを通して培うべき「スキル」を加えた。

これにより、「どのような視点で」「どのような内容の学びを」「どのような教科・領域と関連づけて取り組むのか」が明確になり、それらについて担任一人ひとりが意識できるようになった。

第5学年 ESDカレンダー												須賀川市立白方小学校		
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語	春の空 俳句教室			夏の夜			秋の夕暮れ 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう(ⅠⅣ・③⑤⑦)		説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう(ⅠⅣ・③⑤⑦)			冬の朝		
算数	漢字の学習													
社会	わたしたちの国土(ⅠⅡⅤ・③⑥)		わたしたちの生活と食料生産(ⅡⅢⅥ・①②③⑥)			私たちの生活と工業生産(ⅡⅥ・①②③⑥)					私たちの生活と環境(ⅡⅢⅥ・①②③⑥)			
理科		植物の発芽・成長・結実(ⅠⅡ①②③④⑤⑥⑦)		魚のたんじょう		流れる水のはたらき				人の誕生				
総合			赤ちゃんふれあおう(Ⅳ)		祖父母参観(②④⑤⑦)		白方の産業を調べよう(ⅡⅥ・②⑤⑥⑦)		ムシテックワールド(ⅠⅢ・⑧)	ブナ林にいこう・森林について調べよう(ⅢⅥ・②⑥)				
外国語	外国の人と交流しよう(Ⅰ④⑦) 英語の基本的なあいさつ・表現													
特活		学校をきれいにしよう(Ⅵ⑤⑥)								放射線について考えよう				
道徳	住んでいる町への思い(Ⅵ⑥)	生きることの意味(③)				世界の子どもの願い(Ⅰ⑥)		環境のためにできること(Ⅲ②⑦)	かけがえのない命(③)	外国との習慣の違い(Ⅰ⑥)	友だちの思いや願い(Ⅱ③④⑥)	日本のよいところは(ⅠⅥ③⑥) 限りある命(Ⅲ②)		
音楽						日本の音楽・世界の音楽(Ⅰ③)								
図工														
家庭									物を生かして住みやすく(Ⅳ③⑦)					
体育									心の健康(③)					
						スキル	自然・生命	エネルギー・地球温暖	ともに生きる			ごみ・資源		

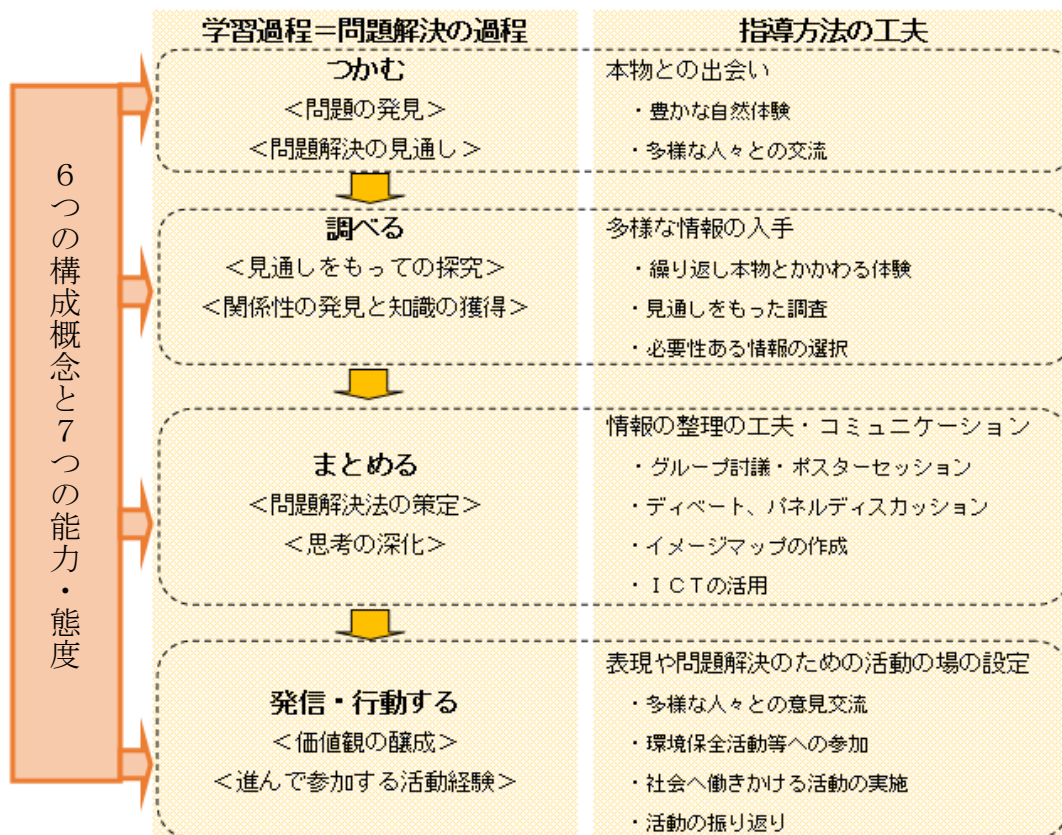
①・・・「持続可能な社会づくり」の構成概念Ⅰ～Ⅵ・ESDの視点に立った学習指導で重視する7つの能力・態度①～⑦ Ⅰ多様性 Ⅱ相互性 Ⅲ有限性 Ⅳ公平性 Ⅴ連携性 Ⅵ責任性
①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力 ③多面的、総合的に考える力 ④コミュニケーションを行う力 ⑤他者と協力する力 ⑥つながりを尊重する態度 ⑦進んで参加する態度

2 「ESDの視点に立った学習指導で重視する（7つの）能力・態度」の再構成と授業づくり

ESDの日常的な実践のためには、その時間でつけるべき「教科等の本来の力」と「ESDの視点に立った身に付ける力」を意識して授業を行う必要がある。そのため、国立教育政策研究所による「ESDの視点に立った学習指導で重視する（7つの）能力・態度」を、担任がイメージしやすいように下記のように再構成し用いることとした。

白方小で設定した4つの能力・態度			国立教育政策研究所『最終報告書』の7つの能力・態度
多様な観点と見通し	多様な観点から考え、見通しを持ってよりよい解決策を考える力	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなものごとを多面的に見つめ、ほかの分野や自分の知識・経験などに関連づけて総合的にとらえ、じっくり考えて判断する力 見通しを持って、よりよい解決策を積極的に考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ① 批判的に考える力 ③ 多面的、総合的に考える力
交流と協力	気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持つとともに、それを他者にしっかり伝えて協力して実行する態度 相手の立場を尊重しながら、自分の気持ちや考えを伝え、積極的にコミュニケーションを行う態度 	<ul style="list-style-type: none"> ④ コミュニケーションを行う力 ⑤ 他者と協力する態度
つながりの尊重	さまざまな人や社会、自然などのつながりを尊重する態度	<ul style="list-style-type: none"> 自分と人・社会・自然などのつながりを尊重し、大切にしようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ つながりを尊重する態度
未来への取り組み	よりよい未来をめざし、その実現に向けて主体的・計画的に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> よりよい未来を思い描きながら、その未来を実現するために必要なことに進んで計画的に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ② 未来像を予測して計画を立てる力 ⑦ 進んで参加する態度

また、次のような「ESDの視点を取り入れた授業づくりのデザイン」にもとづいて授業づくりを行うとともに、「学習指導案」にはESDの視点に立った「重視する能力・態度」を明示することとした。



<学習指導案>

第5学年理科学習指導案

1 単元名 「流れる水のはたらき」

2 教材について

(略) 本単元では、授業を「持続可能な社会づくりの構成概念」のうち「Ⅰ多様性」「Ⅱ相互性」「Ⅲ有限性」から設計・実践することにより、E S Dの視点に立った学習指導が展開できると考える。

3 児童の実態

(略)

4 E S Dの視点に立った学習指導について

本単元の学習指導で重視する能力・態度の内容とその指導については下記のとおりである。

<多様な観点から考え、見通しをもってよりよい解決策を考える力> (1)(3)

…川の様子や雨の日にできた水の流れた跡を観察し、そのはたらきについて考えることができる力

<よりよい未来をめざし、その実現に向けて主体的・計画的に取り組む態度> (2)(7)

…自分の予想にもとづき、観察・実験の計画を立てて主体的に取り組むことができる力

…川や水による災害や、災害に対する備えについて調べたり考えたりして、災害に対して備えることの重要性に気づき、自分の考えを表現することができる力

<気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度> (4)(5)

…既習事項をもとに、予想にもとづく観察、実験を友だちと協力しながら行い、自分の考察を伝えるだけでなく、友だちの考察も取り入れながら結論を導出することができる力

<さまざまな人や社会、自然のなどのつながりを尊重する態度> (6)

…流れる水の速さや水の量が変わると土地の様子が大きく変化し、ときに災害を引き起こす場合があること、災害に対する備えが重要であることをとらえることができる力

これらの能力・態度を育てるために、次のような点に留意して指導を進める。

(1) 学習の系統性をふまえ、単元導入において、既習事項を確認し、考えの根拠をもたせるようにする。

(2) 流れる水のはたらきについて、タブレットを活用しながらデータを集めさせるとともに、話し合いにも活用することによりお互いの考えを共有しやすくする。

(3) 予想したことをもとに観察・実験の班を編成し、観察・実験の計画を立てやすくする。さらに、観察・実験後の考察についても班で確認し合い、自信をもって他の班の友だちに伝えられるようにする。

(略)

7 本時のねらい

実験の結果と自分の考察を伝え合うことにより、複数のデータから水の量と流れる水のはたらきとの関係についてまとめることができる。

8 学習過程

学習内容・活動	時間	○指導上の留意点 *ESDの視点に立った留意点・評価 <ESDで重視する能力・態度>
1 本時の実験のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 流れる水の量によって、流れる水のはたらきはどのように変わるのだろうか。 </div>	5	○前時に行った実験の結果から自分がわかったことをお互いに伝えていくことで、結果や考察を共有していくことを確認する。 ○結果をノートにまとめた自分の考察を、予想や仮説と照らし合わせながら、確かめるよう言葉かけをする。
2 実験の結果から、流れる水のはたらきの変化について分かったことを表現する。(結果の整理・考察の段階) (1) グループで分かったことを確認し合う。 (2) 他のグループの結果を調べる。 (3) 他のグループの結果を交えて様々な結果から分かったことをまとめる。 (4) 全体で結果についてまとめる。	30 (5) (20) (5) 7	○自分の表現でよいか確かめることによって、結果や結果から分かったことを共有し他の人に伝えるにあたって、自信をもたせるようにする。 *ワークシートをもって他の班の結果を調べに行くようにする。他の班の結果は、班の色の付箋紙にメモしてワークシートにはるようにする。 <多様な観点と見通し①・③> *各班の交流に際しては、タブレットの映像や話し方の話型を用いて、相手に分かりやすく話すことができるように指導する。 <交流と協力④・⑤> *自分の結果をもとに、様々な結果から相違点を考えるために、付箋を動かしながら考えられるようにする。 <多様な観点と見通し①・③> ・他のグループの結果と自分の結果を照らし合わせて、考察しようとしているか。 (ノート、ワークシート、行動)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 流れる水の量が増えると、侵食や運搬のはたらきが大きくなり、堆積のはたらきは小さくなる。 流れる水の量が少なくなると侵食や運搬のはたらきは小さくなり、堆積のはたらきが大きくなる。 </div> 3 本時の学習を振り返り、理科日記を書く。	3	○タブレットを活用し、言葉による説明だけでなく視覚にも訴える工夫をしながら学習をまとめていくようにする。 ○まとめに際しては、予想や仮説をもとにして、なるべく自分の言葉でまとめさせるようにする。 ・流れる水の量が増えると侵食や運搬のはたらきが大きくなり、堆積のはたらきは小さくなること、流れる水の量が少なくなると侵食や運搬のはたらきは小さくなり、堆積のはたらきが大きくなること、を理解することができたか。(ノート、発言) ○本時で分かった「流れる水のはたらき」について実際の川の様子と照らし合わせ、「こんなはたらきがあるから、～となっているのではないか。」と予想させ、次時へとつなげるようにする。

* ①②等の数字は、国立教育政策研究所『学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究（最終報告書）』に示された「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度（例）」の各項目を表したものである。

3 「ESD研究発表会」の開催

ESDの普及促進を図るとともに、本校のESD研究の一端を公開して、一層の研究の充実を図るため、平成27年10月16日（金）本校において「ESD研究発表会」を開催した。福島県内全ての公立小・中学校と教育委員会に案内し、県内各地からの参会者を得た。

ESDの視点に立った理科の授業を公開するとともに、参会者のESDへの理解を助けるため「ESD実践ノート」を配布した。



4 「福島ESDコンソーシアム」への参加

本校は、今年度から、文部科学省の「グローバル人材の育成に向けたESDの推進事業」を推進するコンソーシアムに参加した。コンソーシアム構成団体の法政大学からキャリアデザイン学部坂本旬教授に来校いただき、6年生がiPadを用いたネパールの小学校へのビデオレター制作を行った。また、その様子は毎日映画社が長期にわたって撮影し、平成28年3月にドキュメンタリー番組として放映予定である。

また、平成28年2月20日に福島県郡山市で開催された「第1回福島ESDコンソーシアム成果報告会」に6年生児童が参加し、本年度の学習の様子やその成果を報告した。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）